

伏見エリアTOPICS【伏見デイ】

暑い夏に熱いステージで完全燃焼!!

真夏の祭典、「伏見社会福祉総合センター」第18回「ふれあいまつり」が、8月25日（土）に開催されました。

ふれあいまつりは、毎年8月の最終土曜日に開催しています。残暑が厳しく暑い日となりましたが、ご利用者、地域の方々を含め多数の皆さんのご来場を頂きました。



伏見デイの発表は合唱とダンス。6月頃からどれみふぁ荘のご利用者も加わって、猛練習に励みました。そして迎えた当日、舞台上上がった皆さんは少々緊張していましたが、曲が始まるとそんな緊張は何処かへ吹っ飛んだようで、今までの練習の成果が十分に発揮できたステージでした。そして、3曲全てを発表し終え、ご来場頂いた方々からは惜しみない拍手を頂き、ご利用者一人ひとりの表情は自信に満ち溢れ、何とも言えない素晴らしい表情をされていました。



また館内には、デイの活動で作成した絵画の展示の前で、ご家族と一緒に写真を撮ったり、屋外では採れたての新鮮な野菜やお菓子などを販売するコーナーも設置。好評につき、早々に完売となりました。

今年のふれあいまつりも皆さま方のご協力で、大盛況のうちに終わることができました。これもご協力頂きました皆様方のお蔭と、感謝しております。本当にありがとうございました。

(京都市伏見障害者デイサービスセンター：畑谷 宏幸)

山科エリアTOPICS【山科身障会館】

福祉有償運送フル回転、10000件達成！

福祉有償運送京都ラクシヨーネでは、去る8月22日（水）に延べ運行回数10,000件を達成いたしました。10,000件目のご利用者に対して、1回無料乗車券をお渡ししてご利用いただくとともに、記念写真の撮影をさせていただきました。

事業開始から3年5ヶ月で10,000件運行、前回の5000件達成から約1年での達成となりました。計算してみると、1ヶ月あたり平均で約366.8件の運行をしていることとなります。5000件までの1ヶ月平均が約178.5件でしたので倍のペースで利用いただいていることとなります。現在は1ヶ月に400件近く、1日当たりになると10～15件、多い日には32件もの運行数があり、限られた職員・スタッフ数、限られた車両台数で何とかやりくりしている状況となっています。

事業開始から3年が経過した現在でも利用数が増加の一途をたどっており、日々の送迎で配車が出来ないことも多かったため、4月より車両も軽自動車とワンボックスワゴンの乗用車の2台が新しく増えました。新しい車には車体に法人のロゴマークも入り、ご利用者様からも「手のマークの車で分かりやすい」と評判も上々。一方で、福祉有償運送を運営していく上では、新規送迎スタッフの確保や会館運営とのバランスのとおり方、休館日・祝日等の運転職員・スタッフの確保など、多くの課題が存在しているのが現状です。



福祉有償運送 京都ラクシヨーネ

福祉有償運送

利用回数10000件記念

無・料・利・用・券

※1回の利用に限り、お使いいただけます。

An illustration of a yellow van with a wheelchair icon on the side, representing the service.

そのような中ではありますが、地域の中にある移動ニーズに少しでも応えられるよう、また、「障がいのある人とその家族が地域の中で尊厳を保ちながら、普通の暮らしができるよう支援する」という法人理念の実現に向けて、職員・スタッフ一丸となって頑張っています！

（京都市山科身体障害者福祉会館：西岡 容子）

山科エリアTOPICS②【だいが学園】

だいが学園『ふらっと』が【公募型木のまちづくり推進事業】事例集で紹介

だいが学園『ふらっと』（木造二階建、延べ床面積 392 m²）は今年 3 月末に新築竣工し、1 階の明るく清潔な店内では喫茶店とパン販売をして、連日お客様で賑わっています。この建物の構造材には京都府産木材を使用して、京都府『公募型木のまちづくり推進事業』による補助金を使用しています。職員や利用者みんなの笑顔でご来店頂いたお客様をもっと笑顔にできるよう、毎日手間を惜しまず、こつこつと「美味しい」をお届けしています☆

⑤だいが学園だいが分園

平成 29 年度公募型木のまちづくり推進事業事例集



■概要

実施主体：社会福祉法人 京都身体障害者福祉センター
所在地：京都市
府内産木材使用量：45.1 m³
ウッドマイレージ CO₂削減量：1,484kg-CO₂
主な使用箇所：構造材
特徴：2階建ての福祉施設を府内産木材を使用して新築しました。1階は地域の方が“ほっと”できるベーカリーカフェになっています。

参考 公募型木のまちづくり推進事業の概要

■対象施設

多数の府民等が利用する民間の商業施設や福祉施設等において、府内産木材を用いて建築物やその他付随する施設の新築、増改築、改修等を行うもの。

※ 補助を行う施設は、応募のあった施設の中から審査・選考を経て決定します。

■応募要件等

法人、各種団体、個人事業主等が、京都府内に対象施設を整備しようとするもの（一連となる対象施設を整備する場合にあっては、複数の事業主体がグループとなって応募することも可能）で、府内産木材利用及び豊かな森を育てる府民税活用に係るPRの取組をあわせて行うこと。

■補助対象経費

府内産木材を使用した構造材、内装材、外構材料等の購入費用及び当該製品の木工（建込）に係る工事費用の合計額とします。

■補助金の額

補助対象経費の2分の1以内の額で、上限補助金額を1,000万円とします。ただし、補助金の額が100万円未満となる場合は補助の対象としません。

納涼まつりで癒しのひと時を

猛暑の7月27日（金）、デイスポット楽では納涼まつりを開催しました。

午前の部では「オリジナルのうちわ」を作りました。何も描かれていない白うちわに、ある人は絵の具で、ある人はクレヨンで、またある人は色鉛筆で思い思いの絵を描きました。そしてビーズやシール等でデコレーションを施し、最後に自身の写真を張り付けました。これで思い入れもバッチリのはずです。

エアコンの入った部屋で、うちわでさらに涼を取る。なかなか乙なもんですね。

さてお昼の部。本日のメインイベントとも言える納涼コンサートです。何と洛和会京都音楽療法研究センターより2名のゲストをお招きしました。

夏といえば海。まずは涼しげな波音と共に「うみ」をみんなで歌いました。オーシャンドラムのサウンドで本当に波打ち際にいるような、不思議な感覚になりました。その後はお馴染みの「世界に一つだけの花」や「365日の紙飛行機」などを2階の「放課後等デイすてーじ」の子供たちと一緒に大合唱。そしてなんとその場でリクエストにまで応えていただきました。森昌子さんの「せんせい」、スピッツの「チェリー」。カラオケと違う生伴奏で歌うのは、なかなか経験できない貴重なひと時でした。あっという間の45分間。ゲストの軽妙なおしゃべりと歌と音楽に、身も心も癒された気分になりました。

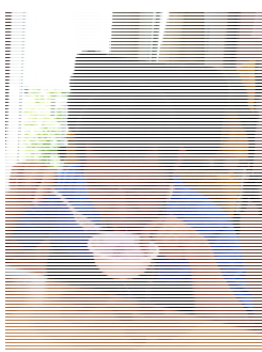


続きまして裏メインイベントのかき氷大会です。何とこの日のために用意した最新鋭のかき氷器「電動ふわふわ・とろ雪」。口の中でとろける新食感のキャッチフレーズは伊達じゃない。本当にこれが氷なのか？とみなさん目を丸くされていました。

メニューも多彩でイチゴにメロン、練乳のスタンダードから、ソーダにグレープシャーベット、そしてイチゴミルク。なんとデイスポット楽で収穫された本物の無農薬イチゴのみで作った極上ジャムを用いた、自家製イチゴミルク。いやはや至極の味でしたね。

異常とも言える今夏の暑さ。オリジナルうちわと素敵な音楽、そして、おいしいかき氷で、ひと時の涼と癒しを感じた一日でした。

（デイスポット「楽」：塚本 太郎）



山科エリアTOPICS④【やましな学園】

姉小路ギャラリー絵画展（生活介護事業）



生活介護事業では事業発足当初からラクト山科の地下ギャラリーで利用者絵画展を開催しています。より多くの人に観てもらいたい、京都の町中ギャラリーを利用したいという思いから、京都府が行っている「地域アート展開催事業」を利用して絵画展示を、平成31年1月10日（木）～1月13日（日）の3日間、姉小路ギャラリーにて開催することとなりました。出展する絵画は、今年度のラクト山科地下ギャラリーに出展した絵画を出展しますが、ラクト山科での展示とは違った趣になると思いますので、姉小路ギャラリーにも是非お越しく下さい。また、昨

年度から実施している土曜日開所でのプログラムの一環として、「昼」と「夜」をテーマとした大型絵画を制作しています。こちらも姉小路ギャラリーに出展しますので、楽しみにしてください♪
♪ 姉小路ギャラリーは京都万華鏡ミュージアム館内にあります。

（京都市やましな学園：小西 敦士）

下請け作業で大忙し！！（就労継続B型事業）

毎年、100円均一ショップで販売されているダイアリー商品の作業を注文して頂いていますが、今年は昨年よりも5万冊ほど増加しての作業依頼があり、6月頃からコツコツと作業に励んでいます。その他にもメガネケースの袋の入れ替えやお菓子の箱折り・敷紙の封入・保険証ホルダーの封入・チラシのはさみ込み・ポストイングなどなど、たくさんの作業が重なり、非常に多忙ですが、充実した日々が続いています。

ご利用者のみなさんも毎年来る作業に、年を追うごとに作業スキルやスピードも上がり、効率よく作業に取り組まれています。毎日のようにボランティアさんにも活動いただいたり、他事業所にも協力を得て、納期に間に合うように頑張っています！

実際に作業した商品がお店で販売されているのを見たご利用者から「これ売ってたよ」「わたしも見たあ～」と盛り上がることもあり、みなさんの作業意欲ややりがいにつながっていると感じています。今後もみなさんに充実した作業を提供できるように考えていきたいと思ひます。

（京都市やましな学園：河端 薫）

洛南エリアTOPICS 【洛南身障会館】

地域の皆さまと交流しています

京都市洛南身体障害者福祉会館は、48年前に身体に障がいをお持ちの方の交流と憩いの場として設置されました。また、教養を高める場として講習会を開催してきており、現在も定期講習会と単発講習会を開催しています。

定期講習会では書道、英会話、料理、絵画、陶芸、歌謡、パソコンの文化講習と卓球、吹き矢、フライングディスクのスポーツ講習を行っています。

書道教室では皆さん昇級や段をめざし、絵画、陶芸教室では楽しみながら作品を制作し、作品展への出展に挑戦されています。

単発講習会では昨年度からすべての講習会を身体障がい者の方だけではなく、地域の皆さまにも参加して頂ける講習会を開催してきました。

健康麻雀、頭塾、マット&室内スポーツ教室、ヨガ教室では地域の皆さまに大勢参加して頂いています。



講習会終了後に喫茶コーナーでコーヒータイムをされている方や講習会、イベントの案内をご覧いただいている様子を見かけますし、講習会が地域の方に会館を知って頂く良い機会になっています。

今後も地域交流の場になるよう、地域の皆さまに参加して頂けるようなイベントを企画していきたいと思っております。

(京都市洛南身体障害者福祉会館：大西 里美)